

魚津市次世代育成支援行動計画推進状況（平成 24 年度）

基本方針 1. 子育てを支える地域をつくる

①地域における子育て支援の充実（p19）

〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 23 年度	目 標	平成 24 年度実績
子育て支援センター事業	未就園児と保護者の集いの場の提供や子育て相談等	継続 ・地域型 2 か所 のびのび（健康センター内）、あいあい（魚津愛育園内） ・児童館型 3 か所（ひばり、つばめ、すずめ）	現状維持	継続 ・地域型 2 か所（※1） のびのび（健康センター内） あいあい（魚津愛育園内） ・児童館型 3 か所（ひばり、つばめ、すずめ）
児童センター	児童・生徒の健全な遊びの場の提供	5 か所 開館日は、週 6 日	継続（休日の開館を検討）	5 か所 開館日は、週 6 日
放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ（学童保育））	保護者が就労等により放課後留守家庭となる児童の生活の場の提供	12 か所 （351 人） H23. 5. 1 現在	13 か所 （400 人）	12 か所 （359 人） H24. 5. 1 現在
放課後子ども教室事業（※2）	放課後や週末等に子どもたちが安心して活動できる場の提供	・全地区公民館 13 か所 ・小学校 2 か所（村木・西布施）で実施	継続	・全地区公民館 13 か所 ・小学校 2 か所（村木・西布施）で実施

※1 地域型子育て支援センター（のびのび・あいあい）

子育てアドバイザー（助産師や保育士）を配置し、親子の集いの広場や子育ての相談、育児情報の提供を行っている。

※2 放課後子ども教室事業

平成 19 年度から実施。地域の方々に温かく見守られながら定着し、サークル活動などを通して、学年を超えて子どもたちの交流が行われている。

②保育サービスの充実（p23）

〈具体的な取り組み〉・多様な保育サービスの拡充

事業名	事業概要	平成 23 年度	目 標	平成 24 年度実績
延長保育事業	保護者の終業時間までの時間延長	10 園 （公：2、民：8）	継 続	10 園 （公：2、民：8）
病児・病後児保育事業	病気回復期の園児保育	1 か所 （キッズベアー）	継 続	1 か所 （キッズベアー）
一時預かり保育	家庭保育が困難な時の一時利用	全園 （17 園）	継 続	全園 （17 園）
年度途中入園	育休明け、途中就労などに伴う待機児解消	全園 （17 園）	継 続	全園 （17 園）

すこやか保育	0歳児の健康管理のため看護師配置	4園 (魚津、第二、加積、本江)	継 続	4園 (魚津、第二、加積、本江)
地域活動事業	保育園の専門機能を地域住民に活用	全園 (17園)	継 続	全園 (17園)
障がい児保育	集団保育が可能な障がい児を受入	可能な園児全員受入 (6園)	継 続	可能な園児全員受入 (5園)
広域入所	就労支援として市外の居住者を受入	全園 (17園)	継 続	全園 (17園)
休日保育	多様な就労の支援として実施	0園	検 討	0園

③子育て支援のネットワークづくり (p25) 〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 23 年度	目 標	平成 24 年度実績
乳幼児施設ガイド	保育に関する情報ガイド	子育て応援マップ発行 (5000部) H24.3.31 発行	子育てガイドブックへ	子育て応援マップ配布
子育てサロン等代表者連絡会	情報交換や研修会	0回	継続	0回 (※1)
児童福祉一般管理事業	子育てに関するガイドブック	子育て応援ガイドブック発行 (5000部) H24.3.31 発行	3,000部	子育て応援ガイドブックの配布

※1 子育て支援センターと児童センター型支援センターのスタッフが、一堂に会して情報交換を行った。

④ボランティア活動の推進 (p27) 〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 23 年度	目 標	平成 24 年度現況
ボランティア情報	ボランティア情報の発信と人材確保	社会福祉協議会で実施	ホームページ作成	社会福祉協議会で実施
ネットワーク構築	人と組織のネットワークづくり	みんなで育てる「とやまっ子みらいフェスタ」(※1) 魚津会場にサークル出展、サークル名簿配布	ネットワーク構築人材リスト作成	主任児童委員・母子保健推進員情報交換会の開催
読み聞かせボランティア	図書館、学校で読み聞かせの実施	継続	継続	継続

※1 みんなで育てる「とやまっ子みらいフェスタ」魚津会場 (H23.11.23 ありそドーム) 子育てサークル・団体紹介ブースに29団体出展。12,000人以上来場。

基本方針 2. 母と子の健康を支える

①子どもや母親の健康の確保 (p30) 〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 23 年度	目 標	平成 24 年度実績
産後の心の健康 についての支援 (※1)	パンフレットにて情 報を提供 産後の母への質問票 を利用	継続	チラシ配布 周知徹底 保健師訪問時に 質問票を実施	継続
虫歯予防事業教 室	虫歯予防教室とフッ 素塗布の充実	むし歯予防教室 22 回 フッ素塗布 36 回 う歯罹患率 16.0% (県平均 22.2%)	継続 フッ素塗布 24 回 (県平均以下) 35.0%	むし歯予防教室 22 回 (※2) フッ素塗布 36 回 (※3) う歯罹患率 20.6% (県平均 21.8%)
母と子の健康づ くりを支援する 地域ネットワー クづくり	・乳幼児保健会 ・母乳育児をすすめ る会 ・母子保健推進員連 絡協議会 ・母子訪問担当者研 修会	各会による研修 会の実施 (※4)	現状に応じた子 どもの健康問題 に関する研修会 の充実	各会による研修会の実 施 (※4)

※1 妊娠届出時から産後支援が必要な方の把握に努め、早期から助産師や保健師が関わりを持っている。また、新生児訪問だけでなく2～3か月児を保健師が訪問した時に、母の心の状態を質問票などで確認し、必要な方には母の心のケア相談(主催:厚生センター魚津支所)等を紹介し、厚生センターと連携しながら支援している。

※2 幼稚園・保育園・児童センター等で歯科衛生士を講師として、子どもの歯みがき指導やむし歯予防の生活習慣について話をしている。

※3 1歳6か月児健診受診者の80%前後がフッ素塗布を希望している。フッ素塗布は半年毎に実施しており、歯科医師や歯科衛生士により個別指導が行われるため、むし歯予防の意識向上につながっている。

※4 乳幼児保健会等では、関係機関への感染症情報の提供を定例的に行うとともに研修会を実施している。

研修内容	平成 23 年度	平成 24 年度
乳幼児保健会	—	子どもの感染症と予防接種
母乳育児をすすめる会	ヒトT細胞白血病ウイルス(HTLV-1)の母子感染予防	母乳育児がヒトにもたらしたもの
母子保健推進員連絡協議会	とやま子育て講座	予防接種について

②「食育」の推進 (p33) 〈具体的な取り組み〉 (※1)

事業名	事業概要	平成 23 年度	目 標	平成 24 年度実績
マタニティセミナー	妊婦とその家族を対象に、妊娠中の栄養についての講話と栄養診断	4 回	現状維持	2 回 (※2)
4 か月健診時離乳食教室	4 か月児の保護者を対象に、離乳食の始め方の講話	12 回	現状維持	12 回

ごっくんルーム	離乳食開始後1か月までの児をもつ保護者を対象に、離乳食のすすめ方の講話	12回	現状維持	12回
もぐもぐ教室	8～10か月の児をもつ保護者を対象に、離乳食のすすめ方の講話	6回	現状維持	6回
パクパク教室	1歳6か月～2歳の保護者を対象に、幼児食への移行について講話	休止	現状維持	休止
栄養相談	乳幼児健診や子育て支援センターでの栄養相談	随時	現状維持	随時
地域での食育活動(親子料理教室等)	食生活改善推進員が地域で食育セミナーを開催	随時	現状維持	随時
未就園児・園児・学童に対する栄養セミナー	食習慣や食育についての講話や調理実習	2回	現状維持	8回
保育園での食育活動	普段の保育に食育を取り入れるとともに、給食だより等で保護者に啓発	随時 (給食だより 年12回)	現状維持	随時 (給食だより年12回)
小・中学校での食育活動	学校給食や学校保健等と連携し栄養の講話を行うとともに、給食だより等で保護者・児童・生徒に啓発	・給食だより 年12回 ・栄養教諭2名配置 ・各学校に出向いての栄養に関する授業や指導等年36回 ・給食時の指導	現状維持	・給食だより年11回 ・栄養教諭2名配置 ・各学校での担任との連携による食に関する指導等 年43回 ・給食時の指導
食育活動の連携	関係機関が連携し、地域への食育のPRを強力に行う	・農協漁協職員と連携した地場産食材を使った調理教室など ・給食だより 年12回	現状維持	・地場産食材使用による農協漁協職員と連携した料理教室、農作業体験など(小10校)(※3) ・地場産食材使用による給食メニューコンテスト開催及び入賞作品の給食提供(※4) ・PTA等への食育に関する講演等 給食だより年11回

※1 「魚津市食育推進計画」

平成24年3月に「魚津市食育推進計画」を策定し、同年4月から食育の推進を行っている。

※2 マタニティセミナー

対象者数が減少してきたことに伴い、今年度は2回実施となった。

※3 小・中学校での食育活動

学校給食センターに配置されている栄養教諭が核となり、小学校2校で、地域食材の生産・調理体験を行う食育の取組みをモデル的に実践した。

※4 魚津地場産品給食メニューコンテスト

食育意識の啓発と学校給食の理解を深めるために、小学校5・6年生を対象に実施。平成24年度は、優秀作品を学校給食メニューとして、4回学校、保育園、幼稚園の給食に提供した。

※ ママたちの食育の推進

野菜の日（8月31日）に、ミニクッキング講座を開催し野菜の摂り方を伝えた。また、毎月19日の食育の日には、試食実演コーナーを設け、簡単おやつやおせち料理を紹介した。

③思春期保健対策の充実（p35）

〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成23年度	目標	平成24年度実績
乳幼児とのふれあい体験	乳幼児とのふれあいや「いのち」についての講話など	東部中学校 （6クラス 218人） 魚津高校 （5クラス 200人）	2中学校で実施	東部中学校（※1） （6クラス 210人） 魚津高校（※2） （5クラス 200人）

※1 中学校では、学校を会場として初回に助産師等の生命の不思議について講義を受け、後日協力親子（延べ30組）と触れ合った。

※2 高校では、子育て支援センターを会場に、助産師の講義を受けた後、「のびのび広場」の利用親子（延べ129組）や協力親子（延べ39組）と触れ合った。

④小児医療の充実（p37）

〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成23年度	目標	平成24年度実績
乳幼児安全教室	健診での乳幼児への事故防止の講話 事故防止や家庭での応急看護などの講話と実技	12回 2回	維持 4回	12回 2回
予防接種	BCG (新)麻しん風しん混合の接種率の向上 (1期・2期)	BCG 集団接種 12回 個別接種 3人 麻疹・風疹混合 1期 91.2% 2期 93.8%	個別接種 各 97.0%以上	BCG 集団接種 12回 個別接種 14人 麻疹・風疹混合（※1） 1期 69.7% 2期 95.4%
(新)チャイルドヘルスメール	市内における感染症情報の配信	週1回配信 登録者数 373人	週1回配信 (※2)	週1回配信 登録者数 369人

※1 麻疹・風疹混合予防接種等

2期の未接種者には、8月、1月に接種勧奨を行う。また、23年1月から子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン接種費用の助成事業を開始している。

※2 「チャイルドヘルスメール」の目標変更

当計画策定時、登録者数を目標としていたが、配信頻度に変更（H24.2.14 少子化対策推進協議会にて承認）。

※ こども医療費助成の拡充

平成24年10月から、こども医療費助成（保険診療本人負担分の助成）について、通院助成の対象上限を小学校3年生から小学校6年生までに拡充した。

※ 小児の初期救急医療については、新川医療圏小児急患センター（H17.10月）や富山県小児救急電話相談事業（#8000）（H21.7月）が行われている。

基本方針3. 子どもの生きる力を育む

①次世代の親の育成 (p39)

〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 23 年度	目 標	平成 24 年度実績
子育て学習	高校生・大学生等の 子育て学習	2回実施 40 人参加 (夏 19 人参加) (冬 21 人参加) (※1)	継続	2回実施 40 人参加予定 (夏 17 人参加) (冬 23 人参加予定)
3歳親子 ふれあい村事業	3歳児親子の自然体 験	2回実施 夏 親子 17組 35人、 高校生等 19人参加 冬 親子 14組 30人、 高校生等 20人参加	継続	2回実施予定 夏 親子 18組 38人、高 校生等 17人参加 冬 親子 11組 23人、高 校生等 23人参加予定 (※2)
社会に学ぶ 14歳の挑戦事業	中学2年生職場ボラ ンティア体験活動	114事業所 325人	継続	111事業所 372人

※1 子育て学習

夏はリズム遊び、冬は体操の先生を講師に迎え、子ども達との接し方、遊び方を学び、実技指導を受けた。冬は、平成25年2月11日(3歳親子ふれあい村事業と同時)実施予定。

※2 3歳親子ふれあい村

年々参加申込者が増加し、キャンセル待ちの状況である。沢登りや森体験など自然と関わることで子ども達はたくましくなり、親は子どもを見直す良い経験になったと好評である。また、ボランティアの高校生・大学生と子ども達とのつながりも深まり、将来に向けた、次世代の親育成にも大いに役立っている。

②子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備 (p42~43)

〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 23 年度	目 標	平成 24 年度実績
小学校への円滑な 移行のための 幼保小の連携	幼児期の教育と小学 校以降の教育との円 滑な移行を図るため、 幼稚園・保育所・小学 校間の連携	13校実施	継続	12校実施
幼稚園	公立2園 私立1園	3年保育実施 園児数：114人	多様な保育体制	3年保育実施 園児数：99人
幼児教育相談	就学前の幼児の「発 達上の問題」「適応上 の問題」「子育ての悩 み」に関する相談・支 援	にこにこ相談会 月1回 相談件数 22件	にこにこ相談会 月1回	にこにこ相談会 相談件数 37件
教育相談	児童生徒の学習、性 格、行動、身体、発 達、進路等の教育に 関する相談	5件	継続	2件
就学相談・特別支 援教育相談	本人や保護者の意向 を尊重し障害等の状 態に応じた適切な就 学相談・指導 障害のある児童生徒 への教育的支援・専 門的助言	11件	継続	9件

特別支援スタディメイトの配置	障害の程度や特性に応じた適切な教育が受けられるようスタディメイトの配置と活用	スタディメイト 11名 学習支援員 8名 (実数)	15名	スタディメイト 12名 学習支援員 8名 (実数)
特別支援学級・通級指導教室の開設と活用	障害のある子どもが可能な限り地域の学校で学べるよう新たな特別支援学級の開設「ことば」「こころ」「まなび」の通級指導教室を積極的に活用	小学校 15級 中学校 3級 ことば 2教室 こころ 1教室 まなび 2教室	小学校 15級 中学校 4級 ことば 2教室 こころ 2教室 まなび 2教室	小学校 17級 中学校 4級 ことば 2教室 こころ 1教室 まなび 2教室
適応指導教室「すまいる」の利用	不登校やひきこもり、いじめなどの心の問題のある児童生徒が、カウンセリングや様々な活動を通し、自立できるよう支援	利用者数 11名	継続	利用者数 10名 すまいる相談件数のべ49件
スクールカウンセラー・カウンセリング指導員、スクールソーシャルワーカーの配置	子どもの心と体の健やかな育成のため、悩み等への相談体制の充実や教員の相談能力向上 いじめ・不登校等の問題に対する家庭や地域と連携したその未然防止と早期対応	スクールカウンセラー 4名 カウンセリング指導員 2名 スクールソーシャルワーカー 2名	スクールカウンセラー 7名 カウンセリング指導員 4名 スクールソーシャルワーカー 2名	スクールカウンセラー 4名 カウンセリング指導員 2名 スクールソーシャルワーカー 2名 スクールアドバイザー 1名
国際理解教育の推進	小学校「外国語活動」完全実施に対応するため、活動指導員あるいは外国語指導助手(ALT)の活用推進	外国語活動指導員 7名 小学校 13校 ALT 2名	継続	外国語活動指導員 6名 小学校 12校 ALT 2名
社会に学ぶ14歳の挑戦事業	中学2年生が、職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に取り組むことによる規範意識や社会性の向上と将来の自分の生き方を考え、たくましく生きる力の育成	参加生徒数 397名 事業所数 113事業所	継続	参加生徒数 372名 事業所数 111事業所
奨学金制度の活用	能力があるにもかかわらず経済的理由によって修学困難な子どもへの奨学金を貸与	貸与者数 35名	貸与者数 40名	貸与者数 34名
就学援助の周知	経済的理由により就学困難と認められる小・中学生が、支障なく義務教育が受けられるよう、その保護者に対する必要な援助	受給率 小学校 8.1% 中学校 10.6%	継続	受給率 小学校 6.9% 中学校 9.5%

学校安全教育等の推進	警察や地域との連携による交通安全教室や防犯教室の実施など、学校安全教育の推進 登下校時の見守り活動の充実とその助言と指導するスクールガードリーダーの配置	スクールガードリーダー 1名	スクールガードリーダー 2名	スクールガードリーダー 1名 通学路合同点検の実施 4校
------------	---	----------------	----------------	---------------------------------

③家庭や地域の教育力の向上 (p45)

〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 23 年度	目 標	平成 24 年度実績
子どもの権利条例策定事業	子どもの権利保障	策定済	策定済	策定済
子ども会議	子どもの人権を守り、次世代への活力を支援	1 回	継続	1 回
放課後子ども教室事業 (※1)	地区公民館や学校の空き教室で地域の方が参画し、放課後子ども教室活動を行います。	全地区公民館 13 か所 小学校 2 か所 (村木・西布施) で実施している。	継続 13 地区	全地区公民館 13 か所 小学校 2 か所 (村木・西布施) で実施している。
子育て講演会 (※2)	親学講演会を開催	小学校の就学時健診等で 10 校が実施した。	継続 14 校 (※3) (小. 12 : 中. 2)	小学校の就学時健診等で 10 校が実施した。
P T A 活動	豊かな心をもち、たくましく生きる子どもを育てます。	会員 3, 115 人	継続	会員 3, 099 人

※1 放課後子ども教室事業

平成 19 年度から実施。地域の方々に温かく見守られながら定着し、サークル活動などを通して、学年を超えて子どもたちの交流が行われている。

※2 子育て講演会 各小学校の就学時健診等に併せて実施している。

※3 学校数について 平成 24 年 4 月坪野小学校の閉校により、学校数を 15 校から 14 校に変更した。

④子どもの健全育成 (p47)

〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 23 年度	目 標	平成 24 年度実績
公民館活動	地域異世代交流等	地区公民館 13 館	継続 地域の特性を生かした交流活動を行う	地区公民館 13 館
スポーツ少年団	野球ほか 13 種目	39 団体 874 団員 加入率 37.1%	45 団体 加入率 45.0%	38 団体 758 団員 加入率 32.7%
総合型地域スポーツクラブ	スポーツ活動を通じた地域コミュニティづくり	3 地域 1 拠点	5 地域 1 拠点	3 地域 1 拠点

児童センター	児童・生徒の健全な遊び場の提供	5か所	継続(休日の開館を検討)	5か所
--------	-----------------	-----	--------------	-----

※ 地域異世代交流

地域の特性を活かした、ご幣作り、灯ろう流し、蝶六踊り、獅子舞などが行われており、郷土芸能を伝承する大切な場にもなっている。スポーツでは、ペタンクやカローリング、パークゴルフなどを行い、高齢者や地域の人、子ども達がふれあい交流している。

基本方針4. 安心して子育てできる街をつくる

①良好な居住環境の確保 (p49)

〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 23 年度	目 標	平成 24 年度実績
公園・広場点検整備事業	施設の点検・整備	都市公園 27 か所 広場 103 箇所	継 続 点検・整備	(都市計画課) 都市公園 27 か所 広場 104 箇所
公園里親制度	公園等の美化・保全ボランティア	21 か所	2 1 か所	(都市計画課) 22 か所

(参考) (H24. 12. 11 現在)

1. 公園・広場点検整備事業

◎都市公園：27 か所

◎広場：104 か所

開発広場：65 か所 (所管：都市計画課)

ちびっ子広場：34 か所 (所管：こども課)

その他の広場：5 か所 (所管：都市計画課) (1 か所増)

(大光寺ロードパーク、片貝川桜堤、川の瀬河川敷公園、片貝橋ポケットパーク、川原田博士夢の郷)

2. 公園里親制度

◎里親が登録されている公園・広場：22 箇所→「川原田博士夢の郷」追加 (H24. 7. 31)

②安全な道路交通環境の整備 (p51)

〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 23 年度	目 標	平成 24 年度実績
交通安全事業 (魚津駅周辺地区)「バリアフリー・歩行者空間ネットワーク整備」	歩道拡幅整備 視覚障害者誘導用ブロック設置	継続して実施 1 路線 L = 0.1 km	5 路線 L = 1.2 k m	H23 年度で完了
交通安全施設等整備事業	自歩道の拡幅整備 視覚障害者誘導用ブロック設置	継続して実施 L = 190m	L = 680m	H25 年度で完了 L = 200m
あんしん歩行エリア事業 (JR魚津駅東方地区)	交通安全総点検に伴う交差点等改善	—	改善箇所 11 箇所	—

交通安全施設 整備事業	防護柵、道路反射鏡 の設置	継続して実施 防護柵 L = 190m	継続して実施	継続して実施 防護柵 L = 216m 道路反射鏡 6 カ所
交通安全教室開 催	幼・保、学校で交通 安全教室を開催	1 回以上/年 (各園・校にて)	1 回以上/年 (各園・校にて)	(学校教育課) 1 回以上/年 (各園・校にて)

③安全・安心なまちづくりの推進 (p53)

〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 23 年度	目 標	平成 24 年度実績
防犯灯設置事業	生活道路における道 路照明を設置	新設 9 灯 (現在の防犯灯数 約 3,700 灯)	新設 100 か所	(環境安全課) 新設 9 灯 (H24.12 月現在)
防犯パトロール 推進事業	各地域における防犯 パトロールの実施	青色回転灯装備 車 7 台	新規装備車 6 台	(環境安全課) 新規装備車 0 台 (現在 6 台 H23 比△1)

④犯罪等の被害に対する防止と保護の推進 (p55)

〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 23 年度	目 標	平成 24 年度実績
地域安全運動事 業	啓発活動・自主防犯 パトロールの実施	毎月 20 日の犯罪 抑止の日、夏期及 び歳末警戒期間 中における防犯 パトロールを実 施 (実施団体) ・地区、校下防犯 組合 ・子ども見守り隊 ほか	毎月 20 日の犯 罪抑止の日・夜 間パトロールの 実施	(環境安全課) 毎月 20 日の犯罪抑止 の日、夏期及び歳末警 戒期間中における防犯 パトロールを実施 (実施団体) ・地区、校下防犯組合 ・子ども見守り隊 ほか
子ども 110 番の 家の設置	通学路等における非 常時に救急を求める ことができる家を設 置	市内全域に 568 か所設置	地区の諸情勢に 応じて設置拡大	(環境安全課) 平成 24 年度 552 箇所を設置 (委嘱)

基本方針5. 子育てと仕事の両立を支える

①雇用環境の整備及び啓発（p57）

〈今後の目標—具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 23 年度	目 標	平成 24 年度実績
地元企業啓発事業	商工会議所広報誌等による啓発	実施(※1)	継続実施	(商工観光課) 実施(※2)
就業支援講座開催事業	子育て終了後の女性の再就職支援セミナー開催	未実施	年1回程度開催	(商工観光課) 未実施

※1 「両立支援企業限定合同企業説明会」(主催：富山県)を、市HPで掲載。

※2 改正育児・介護休業法全面施行について、市広報、商工会議所会報等に掲載し周知を図った。

※ 「元気とやま！子育て応援企業」登録制度(富山県事業)

従前の「子育て支援企業エントリー制度」を廃止し、平成24年度より実施。市内17事業所登録。

②家庭での子育て協力体制の推進（p59）

〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成 23 年度	目 標	平成 24 年度実績
男女共同参画推進研修会	推進員が地区で開催する研修会	市内全域を3つのブロックに分けて「地域で育てる男女共同参画」をテーマに事業を実施	継続	(地域協働課) 市内全域を2つのブロックに分けて「地域で育てる男女共同参画」をテーマに事業を実施
男女共同参画推進講演会	市内全域の市民を対象に開催する	男女共同参画プラン推進のための講演会を年1回開催(※1)	継続	(地域協働課) 男女共同参画プラン推進のための講演会を年1回開催(※2)
男女共同参画推進機関紙の発行	活動事例の報告	広報誌「明日を拓く」を年1回、全戸配布	継続	(地域協働課) 広報誌「明日を拓く」を年1回、全戸配布
男女共同参画推進 市民・企業アンケート	市民・企業を対象にアンケートの実施	実施済	調査	(地域協働課) 実施済(※3)
男女共同参画推進基本計画、実施計画の策定	推進条例の条項に基づく計画策定	実施計画に基づき事業が実施されているかどうか進捗状況等を確認	見直し	(地域協働課) 実施計画に基づき事業が実施されているかどうか進捗状況等を確認

※1 H23.11.16「笑う門にはほんまに福来たる」(講師：特別養護老人ホーム「太閤の杜」施設長・松浦佳紀氏、約130名参加)

※2 H24.11.16「ワーク・ライフ・バランス～しごと暮らしも大切に～」(講師：㈱インテック代表取締役最高経営責任者・中尾哲雄氏、約220名参加)

※3 男女共同参画推進基本計画(H23-27)策定のため、平成22年度に実施済み。

基本方針6. 子どもと親の生活を支える

①児童虐待防止対策の充実（p61）

〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成23年度	目標	平成24年度実績
魚津市要保護児童対策地域協議会	要保護児童の情報共有・適切な連携対応	代表者会議年1回 実務者会議年2回 個別ケース会議14回 検討会議随時	継続	代表者会議年1回 実務者会議年3回予定 個別ケース会議8回 検討会議随時

②子育て家庭の自立支援の推進（p63）

〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成23年度	目標	平成24年度実績
母子家庭自立支援給付金事業	自立支援訓練給付金 高等技能訓練促進費	利用者 4人	利用者 4人	利用者 5人

③障害児施策の充実（p65）

〈具体的な取り組み〉

事業名	事業概要	平成23年度	目標	平成24年度実績
療育相談	知的障がい・発達障がいをもつ子どもの相談、指導及び保護者支援（電話含む外来相談）。 保育園・幼稚園等の職員への施設支援。	魚津市立つくし学園で実施 外来相談件数 55件 施設支援 5件 訪問支援 1件	随時	魚津市立つくし学園で実施 外来相談件数 48件 （電話含む） 施設支援 9件 訪問支援 3件
児童発達支援センター（※）への併行通園	保育園等の通常保育と併行して児童発達支援センター（※）での療育実施	魚津市立つくし学園に通園する21名のうち、5名が併行通園利用	希望により	魚津市立つくし学園に通園する20名のうち5名が併行通園利用

※ 児童発達支援センター

旧知的障害児通園施設。児童福祉法の改正により、平成24年4月から変更。